

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 心筋血流 SPECT 検査における standardized uptake value(SUV)評価に関する検討

### 研究の目的

心筋血流 single photon emission computed tomography(SPECT)検査は、心臓の筋肉(心筋)へ栄養を送る血管(冠動脈)が狭窄して発症する虚血性心疾患の症状を調べる検査です。この検査では、心臓の筋肉に集まる放射性医薬品を注射し、そこに取り込まれた医薬品は放射線を放出するので、専用のカメラで撮影して取り込みの程度を画像化します。この画像は心筋内の最も放射線量が多い部位を 100%として相対的に表示するため、症状が重い三枝病変は心筋全体で取り込みが低下していても正常の血流画像であるかのように表示されてしまいます。この対策として放射性医薬品の取り込み率 (standardized uptake value : SUV) も踏まえた画像表示を行うことが大切と考えています。本研究では心筋血流 SPECT 画像を SUV による定量画像に変換し、心筋血流正常領域と虚血領域の SUV の違いを調査します。それぞれの SUV の違いを明らかにすることで三枝病変の診断が可能になると考えます。

**研究実施期間：** 2022 年 11 月 14 日 ~ 2024 年 3 月 31 日

(倫理委員会承認日)

**対象となる方：** 2021 年 4 月から 2023 年 3 月までの間、附属病院にて心筋血流 SPECT 検査を受けた 18 歳以上の方

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当該患者様の SPECT 画像及び当院のカルテに記載されている情報のうち、年齢、性別、身長、体重、放射性医薬品の投与放射線量、心筋血流 SPECT 検査・心臓カテーテル検査・CT 検査・MRI 検査・心臓超音波検査の所見、心臓カテーテル治療を受けた冠動脈の部位情報について、標記研究課題実施のために利用します。

SPECT 画像、体重、放射性医薬品の投与放射線量から SUV に変換した画像を作成します。作成した画像から心筋血流正常領域及び虚血領域の SUV を算出し、統計解析的手法を用いて比較します。

なお、画像の利用に当たっては患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

### 本件連絡先

医療技術部 放射線部門 山本 裕樹

TEL : 0172-39-5312(放射線部受付) E-mail : hyamamoto@hirosaki-u.ac.jp